

寒椿（かんつばき）・・・

冬に咲く椿を「寒椿」と呼び、冬の季語になっています。春の花である椿が、冬の寒風や雪の中で真紅の花を咲かせる姿は趣があります。

季語としては特定の品種というより、寒さに耐える健気な風情が詠まれますが、「カンツバキ」という名の別の花もあります。これは山茶花の品種のひとつで、冬の寒い時期に、鮮やかな紅色の八重咲きの花を咲かせます。公園や路傍の植え込みでよく見かけますね。名は椿でも山茶花の仲間ですから、花は落ちるのではなく、ぱらぱらと散ります。

（『昔ながらの日本の暮らし』より）



11月度の西寒多大学は・・・

11月10日（木、晴れ）3年ぶりにバスハイクを楽しみました。「秋の菊池溪谷と山鹿八千代座・灯籠民芸館」への小旅行でした。菊池溪谷は、紅葉にはまだちょっと早かったけど、水がエメラルドグリーンできれいなのが印象的でした。



楽しい食事の時間です。量が多いのと時間がゆっくりとなくて大変でしたが美味しくいただきました。旅の愉しみのひとつを満喫できたように思います。



食事は菊池市のはずれでしたが、バスはすぐに山鹿市内に入ります。市内の街灯には灯籠が使われていました。駐車場から迂回しながら歩いて行くと、突然、江戸時代にタイムスリップしたような街並みが現れます。その先に八千代座はありました。

八千代座は、明治43(1910)年、米で儲かった山鹿の実業家たちが建てた芝居小屋で、国の重要文化財になっています。何回か大修理が行われ、今も、歌舞伎や郷土芸能などの催しが行われ、人々を楽しませています。

山鹿灯籠民芸館は、大正14(1925)年に安田銀行山鹿支店として建てられたもので登録有形文化財の指定を受けている。中には山鹿灯籠まつりで女性が頭にかかげる金灯籠や法隆寺五重塔などが展示されていました。

天気に恵まれ、おおむね楽しい旅ができました。



12, 1月度の西寒多大学は・・・

12月度は人権講座の予定です。

12月14日（水曜日）、マックビーン光子さんの講演予定です。事前予約は不要で、参加費は無料ですのでふるってご参加ください。

1月度は新年会の予定です。

1月11日（水曜日）、「絵本でHappy trio SIH」と題して、須藤里美さん、伊藤房江さん、挟間浩子さんの絵本ライブ予定です。事前予約は不要で、参加費は無料ですのでふるってご参加ください。



